

－ 第 6 回東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた
国際ワークショップ報告書

大阪市立大学都市研究プラ
ザ先端的都市研究拠点編

Edited by Urban Research Plaza

大阪市立大学都市研究プラザ

第6回東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた国際ワークショップ 報告書の刊行に寄せて

都市研究プラザは、大阪市立大学が創設以来蓄積してきた「都市研究」の実績をもとに、2006年4月に開設された。「プラザ」という名称を付したのは、研究者だけではなく、都市において様々なまちづくりの実践に取り組む人々もそこに集い、相互に刺激を与え合い、新たなアイデアを産み出すことができるような「広場」としての役割を果たしていきたいと考えてのことであった。

その後、2007年度には、文部科学省が、我が国の大学の教育研究機能の一層の充実・強化を図り、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、もって、国際競争力ある大学づくりを推進することを目的として創設した、グローバル COE プログラムの拠点のひとつに選ばれた。そして、2007年度から2011年度までの5年間、文部科学省の財政的支援の下に、「文化創造と社会的包摂に向けた都市の再構築」をテーマとする研究拠点形成推進事業に取り組んだ。その成果を受け継いでさらに、2014年度には、文部科学大臣より「共同利用・共同研究拠点」としての認定を受けた。現在は、この認定を踏まえて、全国の関連研究者のコミュニティが都市研究プラザを拠点として、大阪市立大学がこれまで蓄積してきた都市研究の知的リソースや人的・組織的ネットワークを活用し、最先端の都市研究に取り組んでいただけるよう、そのための基盤整備に努めているところである。

そしてこの間、都市研究プラザは、一貫して、東アジア諸国において都市を基盤として研究活動を推進している諸機関や、都市問題の解決に向けた実践に取り組んでいる諸団体との交流に注力してきた。東アジア諸国の都市は、それぞれに特色を有しつつも、グローバル化の進展の下での社会的排除に関連したいくつかの共通した問題に直面しており、それゆえに、それぞれの都市における諸経験を突き合わせ、それらの諸経験の理論的および実践的な含意を検討することが、それぞれの都市が直面している問題の解決に資することになるであろうと考えてのことである。

そうした都市研究プラザの都市間交流の核となるのが「東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた国際ワークショップ」であり、その第1回を2010年に台北で開催して以来、ソウル、大阪、香港、そしてまた台北と、4都市において回り持ちで開催し、今年で6回を数えるに至った。本報告書は、その「第6回東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた国際ワークショップ」における報告に際して各報告者が提出した資料を収録したものである。

ソウルにおいて開催されたこの第6回のワークショップでは、各国の研究機関に所属する研究者や都市問題の解決に実践的に取り組む NGO・NPO のメンバーに加えて、都市自治体の職員にも報告をお願いした。その結果、都市問題をめぐる議論が、従来以上に多面的ないしは多角的に展開することになったと自負している。

そうしたワークショップの模様を伝える本報告書が、都市問題に関心を寄せる多くの人々に読まれ、研究や実践の参考にしていただけたならば、これに勝る喜びはない。

大阪市立大学都市研究プラザ所長
阿部 昌樹

0 Keynote Speech1

チェビョンド (大邱大学 地理教育科)

0 Keynote Speech2

大阪市社会福祉協議会 専務理事 西嶋善親

大阪市立学 教授 水内俊雄

1-1 Joonhee Kim

キム・ジュンヒ (聖公会大学・労働事情研究所研究所)

1-2 Eunhee Choi

LH 土地住宅研究院 首席研究員 チェ・ウンヒ

1-3 Wonseok Nam

Nam, Wonseok (Research Fellow, The Seoul Institute)

1-4 Han Kuang Chen

陳涵光 Chen Han-Kuang 崔媽媽基金会、社会住宅推進連盟／居住サポーター

1-5 Yi Shan Angela Lui

LUI Yi Shan Angela (Society for Community Organization)

2-1 Young Rock Moon

Young Rock Moon ソウル市 社会住宅総合支援センター

2-2 Li-Fung Feng

馮麗芳 崔媽基金会

2-3 Hajime Osaki

大崎 元 (建築工房匠屋)

2-4 Junbae Cho

Junbae Cho 都市再生本部 再生事業企画所

3-1 Wing-Shing Tang and Ha Chi Young

Wing-Shing Tang (Department of Geography, Hong Kong Baptist University)

Ha Chi Yeung (Liber Research Community, Hong Kong)

3-2 Eunseon Park

パクウンソン リスントウザシティーディレクター , 延世大学校

3-3 Guo Meng-Fei

郭孟斐 プロジェクトマネージャ、中華民国專業者都市改革組織

3-4 Yoshio Nishigami

NPO法人すまいるセンター 代表理事 西上孔雄

4-1 Yoonsik Kim

キム・ユンシク (京畿道始興市長)

4-2 Takayuki Aminaka

八尾市 人権文化ふれあい部 網中孝幸

4-3 She-Fang Chien

台北市政府 都市發展局 住宅 企画課 課長 簡瑟芳

4-4 Masayoshi Koshita

堺市健康福祉局長寿社会部高齢施策推進課 参事 古下政義

4-5 Won O Chong

城東区 (ソンドング) 庁長 チョン=ウォノ

5-1 Seongcheol Hwang

5-2 Che Wei Hsu

Che Wei, Hsu Project Manager KIGE Studio @ Homeless Taiwan

5-3 Chung Yin Wong

WONG Chung Yin Social Worker, Integrated Services for Street Sleepers, St. James' Settlement

5-4 Hiroyuki Tsunashima

綱島洋之 (大阪市立学)

5-5 Minoru Yamada

NPO 釜ヶ崎支援機構 理事長 (釜ヶ崎日雇労働組合 前委員長) 山田 實

<http://www.2016citynet.com/papers.html> → Individual Papers and PPT(Japanese)

PW : seoul2016

第6回東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた
国際ワークショップ
報告書

2017年3月10日

大阪市立大学都市研究プラ

ザ

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

TEL:06-6605-2071 FAX:06-6605-2069

<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/index.html>

本企画は文部科学省共同利用・共同研究拠点形成事業費補助金「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業～スタートアップ支援」（大阪市立大学先端的都市研究拠点）、科学研究費基盤研究（A）「東アジアの広義のホームレス支援に基づく包摂型都市生成と支援の地理学の構築」（研究代表者：水内俊雄）、科学研究費（挑戦的萌芽）「東アジア都市における多文化コミュニティの移民研究と地域福祉研究の接合に関する研究」（研究代表者：全泓奎）を得て実施したものである。